

市長への提言 令和3年3月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
防災マップの更新方法についての提案	「防災マップ」の最新版の差し替え分を「広報ひらかた」に載せてはいかがでしょうか。	「防災マップ」については、平成27年の全戸配布以降、地図情報の更新をおこなった上で、随時、本市ホームページ上で最新版を公開しています。加えて、修正している浸水や土砂災害警戒区域の変更は、避難行動や避難所運営につながる重要な情報であり、確実にお伝えする必要があることから、各小学校区の自主防災組織ネットワーク会議等で個別に説明をしています。「防災マップ」変更点の詳細を市民の皆様にお知らせすることは必須と受け止めています。「広報ひらかた」に全ての詳細を掲載することは、紙面の都合上難しい場合があると考えますが、今後の「防災マップ」の在り方の参考にいたします。	2021/2/3	2021/3/31	危機管理室
一次、二次避難(場)所への階段昇降機の設置について	一次、二次避難(場)所へ階段昇降機を設置してはどうでしょうか。	バリアフリー化を含めた避難所の環境改善については、継続して取り組む必要があり、階段昇降機の導入は有効な手法のひとつとして、検討を行う必要があると考えています。洪水時に車いす利用者などの要配慮者が避難される場合は、浸水区域外のより安全な避難所を案内できるよう、「防災マップ」に掲載してまいります。また、自力で避難することが困難な方(避難行動要支援者)には、災害時に円滑な避難支援が行えるよう、災害対策基本法に基づき、「避難行動要支援者名簿(以下名簿)」への掲載を行い、自主防災組織等へ事前提供することで、要支援者の避難支援体制づくりに取り組んでいます。なお、名簿に掲載されていない方(比較的軽度な障害者等)についても、地区防災計画策定支援を通じて、自治会等を中心とした共助の取り組みによる避難支援が進むようサポートしてまいります。	2021/2/3	2021/3/31	危機管理室 健康福祉総務課 障害福祉担当 長寿・介護保険担当
特設公衆電話および公衆無線LANの設置について	2次避難所となる中学校などにも特設公衆電話および公衆無線LANの設置をお願いします。	一次避難所に指定の全小学校・第二中には、平成29年度に特設公衆電話を設置するとともに、避難所への公衆無線LAN整備の目的で体育館へのWi-Fi環境の整備を行っています。二次避難所の各中学校には、令和2年度、一人一台のタブレット整備に合わせ、学校全体にWi-Fi環境の整備を行っており、3月末で整備が完了する予定ですが、学習環境としての整備であり、公衆無線LANとして活用が可能な検証が必要であり、追加の機器整備などが必要となることも想定されます。特設公衆電話については、平成29年度にNTT西日本との協定により一次避難所に設置しています。二次避難所に増設する場合は、改めて協議が必要ですので、即時の対応は難しいですが、今後検討してまいります。	2021/2/17	2021/3/4	教育政策課
育休明けの保育園入園の慣らし保育期間について	慣らし保育ですが、期間が短すぎると感じています。期間を長くして欲しいです。	保育所(園)等の利用は、就労等の理由により「父・母のいずれもが家庭での保育が困難である」ことが条件となります。育児休業中については、この条件に該当しないことから、原則として保育所(園)等を利用できませんが、新規入所されるお子様が育児休業中に保育所(園)等の利用をすることについて、集団生活に適應するための慣らし期間として、特例的に認めているものです。本市では、保育制度の趣旨や待機されている方との公平性などを考慮し、1週間を限度としているところですが、すぐに職場復帰を望まれる方、入所できず待機されている方など、状況により様々な意見・要望があります。保護者ニーズや他市の事例等も参考に、より保護者の皆様に寄り添った子育て施策となるよう、今後の保育所(園)等の制度設計に生かしてまいります。	2021/2/4	2021/3/1	保育幼稚園入園課
QRコード・ホームページ・スマホ貸与について	広報紙にQRコードやホームページへと記載されていますが、全員がスマホ等を持ち、検索できるとは思いません。QRコードやホームページへと記載する必要があるのなら、市からスマホを貸与し、高齢者にも広報紙が理解できるようにすべきではないでしょうか。	市政情報を市民の皆様へ確実に届けるためには、インターネットの普及が進んだ現在社会においても、市内18万世帯全戸に配布する「広報ひらかた」の役割は大きいと考えています。幅広い世代の皆様が手にとることを意識して作成しており、分かりやすく読みやすい文章やレイアウトを心掛けています。紙面上のQRコードは、スマートフォン利用者の増加にあわせ、記事の内容を市ホームページに誘導するなど、利便性の観点から掲載していますが、紙面に掲載すべき情報を削減しているわけではないので、その点についてはご安心ください。一方、災害時の情報手段として、スマートフォンやICT機器は欠かせない存在であり、コロナ禍においても、「新しい生活様式」が浸透しつつあります。こうした社会状況の変化を踏まえ、スマートフォン等を利用するメリットをお伝えする必要があると考え、昨年アンケート調査を行い、その結果を踏まえて、令和3年度は、通信事業者の協力のもと、スマートフォンを利用する必要性を感じていただくとともに、使い方をサポートする体制を構築するための事業を展開予定です。詳細は今後、「広報ひらかた」などでお知らせする予定です。	2021/2/16	2021/3/15	広報プロモーション課 長寿・介護保険担当
幼保、小中学校の給食について	幼保、小中学校給食で提供される牛乳を、豆乳などの植物性ミルクと選択制にしてもらいたい。	市立保育所では厚生労働省の食事摂取基準を参考に、献立を作成しています。牛乳は栄養素をバランスよく含んでおり、特に健康な骨や歯を作るカルシウムが豊富に含まれています。また、他の食品に比べてカルシウムの吸収率が高く、乳幼児期のカルシウムの摂取は、成長期の骨や歯の発育に影響が大きいとされています。このことから、市立保育所では、牛乳アレルギーのお子様には、医師の指示書に基づきアレルギー用のミルクや豆乳を提供していますが、それ以外の選択制については、誤飲事故等の発生を防止するため、実施していません。子どもの安全の観点から、ご理解をお願いいたします。学校給食については、児童生徒の健康の増進及び食育の推進を図るために望ましい栄養量を算出した文部科学省の学校給食実施基準を参考に、献立を作成しています。牛乳は成長期の子どもたちに必要なカルシウムが多く含まれており、学校給食には欠かせない食材となっています。学校給食の牛乳を豆乳にした場合、カルシウムの摂取量は一日の必要量の1/3以下になり、カルシウム不足によるリスクが高まることから、現時点ではカルシウムを摂取する食材として牛乳を用いることとし、子どもたちの健康のために、牛乳の提供を実施・継続を考えています。今後も、様々な情報を取り入れながら、学校給食の充実を図ってまいります。	2021/2/17	2021/3/15	おいしい給食課 公立保育幼稚園課

市長への提言 令和3年3月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
ごみ収集サポートの利用条件について	高齢者の支援事業であるごみ収集サポート「ふれあいサポート」の利用条件に、「要介護1以上の認定」、「ホームヘルパーを利用していること」とありますが、必要な方が必要なサービスを利用できるように、制度利用の条件の見直しを行ってほしい。	ごみ出しが一人できない市民を対象に個別収集を行う、ふれあいサポート収集は、対象を、要介護1以上、身体障害者手帳の交付を受け障害の程度が1級・2級、療育手帳の交付を受け障害の程度がA、精神障害者保健福祉手帳の交付を受け障害の程度が1級のいずれかに該当し、かつ、ホームヘルプサービスを利用されている一人暮らしの世帯としています。現在、本事業の対象要件となる生活援助や身体介護が必要で自力での日常生活が困難であることの根拠を、ホームヘルプサービスを利用されていることとしています。 しかしながら、近年ニーズが増加していることから、大型ごみを持ち出すサービスについては、この4月から要支援1以上の方も対象に広げる予定です。また、認知症疾患には早期の対応が重要であるため、認知症の方(疑いのある方)に発症初期の段階で医療と介護の専門職によるチームが個別の訪問を行い、医療機関の受診やサービス利用につなぐ支援を行っています。 高齢化が進む中、様々な理由で一人でのごみ出しが困難な方がおられる事も理解しており、今後の社会情勢、本市の収集体制を鑑みより良いサービスを目指してまいります。	2021/2/25	2021/3/30	減量業務室
少子化問題について	少子化問題の対策の一つとして、枚方市でお見合いパーティーの開催を検討してください。	本市では、地域資源の一つである「七夕」の定着、及び市内外への発信を目的とした事業として、七夕のキーワードでもある「出会い」「交流」の場を提供する「七夕婚活」を実施しており、令和元年度は4組のカップリングが成立しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となりましたが、令和3年度は2回の実施を予定しています。詳細は、広報ひらかた等にて周知させていただく予定です。 また、本市では、若い世代に住みやすいと思ってもらえるまちづくりに力を入れており、新たな生活を始める新婚等の世帯に対して、一定の条件で、結婚等に伴う住宅の賃借・購入費用や引越費用を補助する制度を実施しています。結婚等をしやすい環境づくりを推進し、少子化対策の強化の一助とし、経済的な理由で結婚等に躊躇している若い方達が、結婚等をしてもらいやすくなり、本市への定住の促進に繋がればと思っています。 少子化対策については、出産できる環境はもちろん、様々な観点の施策が必要です。枚方で子どもを産み育てやすいと思ってもらえるまちづくりをこれからも進めてまいります。	2021/3/2	2021/3/24	観光交流課 子ども青少年政策課
保育園への提出書類について	保育所への提出書類について、電子化をして、市役所と保育所が連携し、情報を管理し、活用してください。	保護者の皆様には、申込時や保育所入所時において、多数の書類の記載に協力いただき、ありがとうございます。入所申込時に記載する書類は保育の認定に必要な書類であり、また、入所する際に記載していただく書類は緊急連絡先等、保育所が把握しておくべき情報として必要な書類です。保育所の入所申込を行ってから、実際に保育所に入所するまでに期間が空くこともあるため、記載内容に重複する部分もありますが、改めて書類の記載をお願いしています。 本市では、申請書類はできる限り減らすという流れの中、公立保育所においても保護者に記載いただく書類について削減や簡略化することができるかどうか、令和3年3月より公立保育所に導入した「登降園管理システム」や保護者連絡などの電子化と併せて、今後検討していきたいと考えています。	2021/3/11	2021/3/22	公立保育幼稚園課